

東京エリア Debian 勉強会

第95回 2012年12月度

上川純一

dancer@debian.org

2012年12月15日

設営準備にご協力ください。

会場設営よろしくおねがいします。



Agenda

- 注意事項
 - 飲食禁止
 - 宗教禁止
 - 営利活動禁止
- 最近あった Debian 関連のイベント報告
 - 第 94 回 東京エリア Debian 勉強会
- 事前課題紹介
- im-config
- 著作権法改正
- 2012 年の Debian 勉強会を振り返る



事前課題

DFSG における自由について論じてください。

自由を守るための制限である。

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいことを論じてください。

Bug squashing , DDTP などでの翻訳

DFSG における自由について論じてください。

5. すべての個人、団体の平等

6. ライセンスは、すべての個人や団体を差別してはなりません。

DFSG の上記各条項に関して、テロリスト等反社会団体や犯罪者、犯罪集団による反社会的活動、犯罪行為への利用に対して、差別ではなくと区別はしており、(規制はできないながらも)決して全面的に承認している訳ではないという意志表明的な事をすべきではないか。なぜしないのか。その上での自由ではないかと考えています。

目標分野の平等

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいことを論じてください。

恐縮ですが2012年はDebianに関して何もしていません。これから学んで行きたいと思います。

DFSG における自由について論じてください。

9番目の「ライセンスは他のソフトウェアを侵害しない」とある。GPLライセンスはGFSG互換ライセンスだが実行時は他のソフトウェアの自由を侵害してる場合があります。そうな気がするがどうなんだろうか。

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいことを論じてください。

今年はarmelアーキテクチャのdebianを初めて自分でインストールしてみた。先人達の知恵があるため割とすんなり入ってしまってdebianはすごいと思った。来年はmips系のハードを探してdebianを入れて色々試してみたいと思います。

DFSG における自由について論じてください。

論じる程の知能はないので、代わりに感想を。他のライセンス等に比べ、間口が広く、現実的で、制限が少なく、開発者のみならず利用者にも心地のよい自由であると思う。

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいことを論じてください。

私事ですが、異動で使えなくなった Debian 社内サーバの代わりに何とかしたいですね。

DFSG における自由について論じてください。

よくわかりませんが、ソースコードの公開とその運用の自由は維持してほしいです。

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいことを論じてください。

ビッグデータ関係が、主戦場になっています。ZFSの適用、セキュリティの強化の面から、kfreeBSDに注目しています。2013年は、ビッグデータとkfreeBSDでなにか貢献ができればと考えています。

DFSG における自由について論じてください。

よく知らないけれど、DFSGのおかげで今のdebianが使えるのなら、ありがたいものだと思います。

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいことを論じてください。

debianホストの仮想環境をいじってみたいです。

なかおけいすけ

DFSG における自由について論じてください。

Debian は、Debian 社会契約により、Debian システムとその構成要素が 100%フリーソフトウェアでなければならないと規定しています。その著作物が「フリー」であると判断するための基準が DFSG です。すなわち、Debian に含まれるソフトウェアは、再配布する自由、個人や団体、目的によらず使用する自由、および改変する自由をユーザーに与えるものでなければなりません。

特に目的如何に問わずソフトウェアを使用する自由と、ソースコードを入手し、かつ改変する自由は、開発元がサポートをやめたとしても、（やろうと思えば）ユーザが自分たちでなんとかできるということです。これは長期間システムを維持することを求められる現場において非常に強力な武器になります。

DFSG における自由について論じてください。

debian を主に使っていると、なんかもう空気のような当たり前の存在に感じてしまう DFSG です。ここでうたわれている自由は、エンジニアライフにとって最低限不可欠な自由だと個人的には思っています。ただ、自分の知見が足りない為か、実は DFSG でうたわれている自由がどんな事を犠牲にして、どんな努力でささえられているのかがあまりよく解っておらず... このあたり誰か教えてーっ。

Debian に関して、2012年をふりかえて2013年やっておきたいことを論じてください。

2012年は、おかげさまで、ちょっとはアウトプットできた？ 2013年はさらにアウトプット(ハック等)に励みまうす。

DFSG における自由について論じてください。

ソフトウェア開発者のための自由ですね。ある意味極北のディストリビューションであり、Debian の最大の特徴だとも思います。Ubuntu との最大の違いといっても良いのではないのでしょうか。

Debian に関して、2012年をふりかえて2013年やっておきたいことを論じてください。

DebianJP 参加。

DFSG における自由について論じてください。

DFSG は、ソフトウェアの自由を確保するためには、なかなかよくできたガイドラインだと思います。これにいくつかの事項を加えて OSD としたのも納得できます。また、完全にボランティアベースである Debian には、“フリーソフトウェアコミュニティとの「社会契約」”と共に、Debian が理想とするあり方を明示し、これらに賛同する者たちを集めるには必要なものと考えます。また DFSG フリーを保証することで、派生ディストリビューションなどの二次配布物の作成を容易にしたとも言えるでしょう。ただし、例えば理想をひたすら追い求める RMS とかとは違い、Debian は DFSG フリーなソフトウェアだけでは成り立たない現実も理解していて、“フリーソフトウェアコミュニティとの「社会契約」”の第一項では“Debian は 100% フリーソフトウェアであり続けます”とありますが、第五項の“私たちのフリーソフトウェア基準に合致しない著作物について”において、non-free や contrib リポジトリの作成を謳っています。もちろん第一項により、これらは正式な Debian のパッケージとは言えませんが、BTS などとその配布物に関する問題発生などを監視したりすることなどにより、利用をサポートしたり配布したりしています。これらの「理想」と「現実」の折り合いをつける感覚が、私はとても気に入っています。

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいに

DFSG における自由について論じてください。

DFSG は「開発者」「配布者」「利用者」3者がバランスよく自由を享受できるようにしたものだと考えています。それぞれがかなりギリギリのラインをとっているように感じているので、今後変更されることはおそくないように思います。

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいことを論じてください。

全てのパッケージをきちんと format 3 に対応させたいところです。あとは vcs-buildpackage の利用促進と外部への公開も進めたいところ。

DFSG における自由について論じてください。

DFSG の定義に賛成なんですが、FSF とのギャップの現実的解決策は、大事なことを忘れずいい意味での「寛容」なスタンスが双方必要かな？

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいことを論じてください。

日本語入力の im-config への移行と改善ができたのが2012年、gnome-shell の最新版 (> 3 . 6) への対応が2013年の課題。

まえだこうへい

DFSG における自由について論じてください。

「すべての個人、団体の平等」「目標分野の平等」があるおかげで、利用目的、使い方関わらず、自由に使える恩恵を享受しています。一方、フリーソフトウェア、もしくはOSSではなく、単にソースコードが公開されているということで満足している人もいます。そういう人が Debian やその派生物を利用するのもまた自由なので、DFSG に賛同する人が増えるよう活動を続けていく必要があるのかなと思います。

Debian に関して、2012年をふりかえって2013年やっておきたいことを論じてください。

今年は特に活動できなかったので、時間を作れるようにすることが第一。メンテナンスできてないパッケージや、ITP したままになっているのとか、やる事は多いです。あとは来年も大統一 Debian 勉強会やりたいですね。



im-config



日本においての DFSG
の求める自由と 201
2年改正著作権法

ソフトウェアの自由関連の2012年の流れと大きなイベント

- 著作権法改正
- iOS デバイスなどのマーケットからしかソフトウェアがインストールできないハードウェアの普及

2012年改正著作権法

- ① いわゆる「写り込み」(付随対象著作物の利用)等に係る規定の整備
- ② 国立国会図書館による図書館資料の自動公衆送信等に係る規定の整備
- ③ 公文書等の管理に関する法律等に基づく利用に係る規定の整備
- ④ 著作権等の技術的保護手段に係る規定の整備
- ⑤ 違法ダウンロードの刑事罰化に係る規定の整備

「平成24年通常国会 著作権法改正について」http://www.bunka.go.jp/chosakuken/24_houkaisei.html

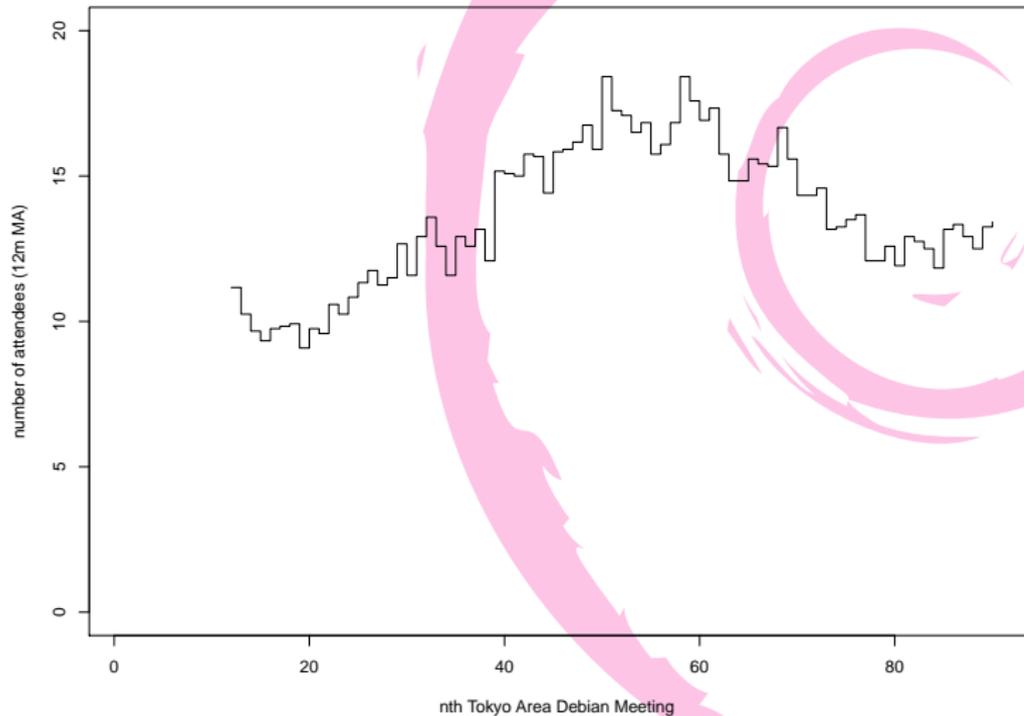


2012 年の
Debian 勉
強会

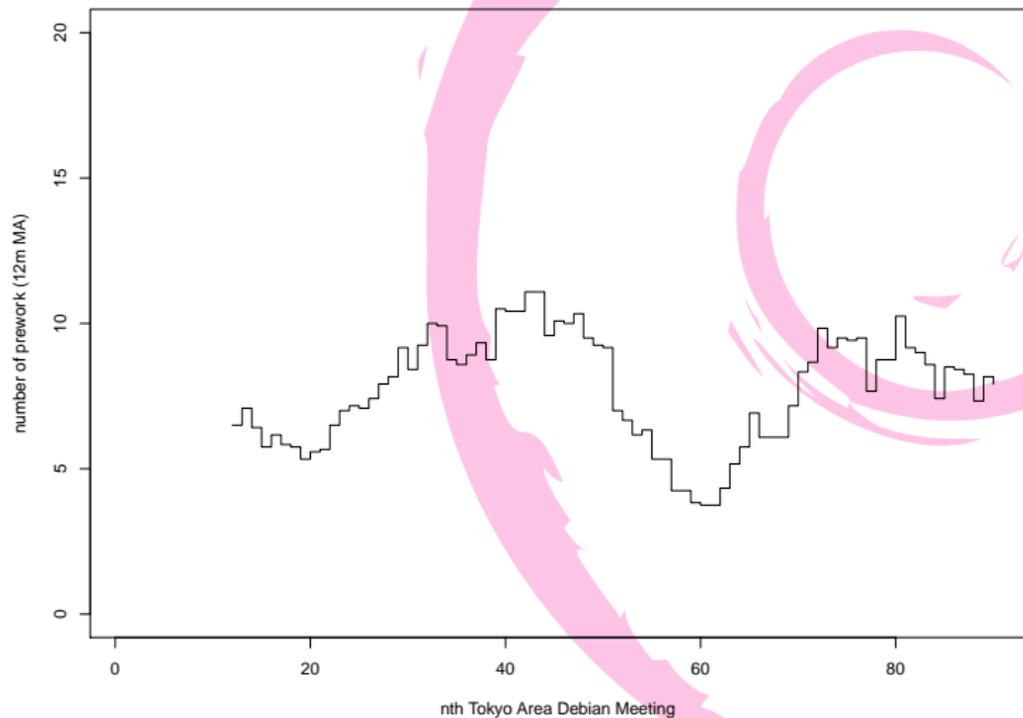
2012年のテーマ

	人数	内容
2012年1月	8	Debian 勉強会予約システム, VPS, twitter, 月刊デブヘルパー, 2012年計画
2012年2月	4?	KDE 開発, 月刊デブヘルパー, cmake, 第0回福岡勉強会
2012年3月	?	OSC
2012年4月	13	node.js, android で Debian, 月刊デブヘルパー
2012年5月	14	coffeescript, python
2012年6月	?	大統一 Debian 勉強会
2012年7月	8?	MacBook Air 2011
2012年8月	6?	Debconf 2012, 月刊デブヘルパー, C++11
2012年9月	12	OSC Tokyo Fall
2012年10月	10	Haskell, レゴ, xf86-input-mtrack
2012年11月	14	bluetooth tethering, linux perf, systemd
2012年12月	?	忘年会

出席数推移



事前課題推移



2012年のテーマ

何?





今後のイベント

今後のイベント

- 2013年1月 Debian 勉強会





今日の宴会
場所

今日の宴会場所

荻窪「はなの舞」にて。

